

オギノ  
パン

# 親子教室でやさしいパンづくり

## 「上手にできた」とにっこり

# 本社の開発ラボ利用

相模原市のオギノパン（緑区長竹284-1、荻野時夫社長）は7月下旬から親子連れなどを対象にした「夏休み・やさしいパン教室」を始めた。8月末までのお盆を除く毎週火曜日と木曜日、午前9時30分から午後1時30分からの1日2回で全20回を開き、バターロール2個とトニッシュ1個など材料1セット分の参加費が1500円。

## 夏休み期間に20回開催

初回の7月24日。普段は新製品の開発や社員研修に使うキッチンラボに、相模原や厚木、横浜から来た親子連れなど20組25人が集まった。荻野社長からパン作りの説明を受け、機械で練った生地

を手に、伸ばしたり丸めたりして形を整えていく。基本的なロールパンやデニッシュのほかにも、社長の愛犬がモデルの「犬パン」の作り方も教わり、レーズンの目と鼻や、思いついた横浜市の小5の女の子は「上手にでき



焼き上がったパンに感動する教室の参加者

場の見学ができるほか、会場ではかき氷コーナーやくじ引きなど縁日風の演出もあり、人気のパンの試食もできる。子どもたちはかき氷に列を作り、小さく切った試食用のパンに次々と手を伸ばした。

そして待ちに待った焼き上がり。おいしそうな匂いが流れ、こんがり焼けたパンがオーブンから出されると、子どもたちの目が一段と輝く。「弟へのお土産を作りたい」と話していた横浜市の小5の女の子は「上手にできた」と話す。折り込みチラシ7万5000枚を相模原市南区や厚木エリアなどに配布し、申し込み状況は順調という。今後の予定は8月2日、7日、9日、21日、23日、28日、30日。☎042-780-8121。

## 河本防災

# 都内で50周年を祝う

# 式典に160人臨む

（株）河本総合防災（相模原市中央区鹿沼台2-1-3、河本俊二社長）は7月20日、港区のザ・プリンスパークタワー東京で、関係企業や全国の支

店の社員など、約160人が出席した創立50周年記念の式典と祝賀会を開いた。

が感謝の言葉とともに「50周年の節目を第2の創業として、100年企業に向けて社業発展に専心する」と挨拶。モータースポーツを通じて同社

と縁の深い（株）エムケイから防災関連アプリや被災地企業と共同で非常食の開発も手掛けている。東日本大震災後は企業の防災意識の高まりから引き合いが増えている。



東北の地酒で祝う河本社長（右から3人目）たち

## 夏休み初日に科学実験体験

住友スリーエム 児童97人が楽しむ

住友スリーエム（株）相模原